

# コンクリート面及び押出成形セメント板面

## 7章10節: 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 水性ビルデック艶消 (ヤニ止め仕様)

公共仕様No.  
DNT-改修・10-3-05

### 使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	水性マイティーシーラーマルチ	F☆☆☆☆	—
2 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント	水性ビルデック艶消	F☆☆☆☆	水道水

### 塗装仕様

表7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整【RB種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	—	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化し脆弱な部分を除去する。
2 汚れ、付着物除去	—	—	—	素地を傷付けないようにワイヤブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	—	—	—	特記による。
4 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	既存の塗膜の除去部分の不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
5 吸込止め	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂ワニス	2液形エポキシ樹脂ワニス	全面に塗り付ける。

- (注) 1. 押出成形セメント板面の場合は、工程4を省略する。  
 2. 2液形エポキシ樹脂ワニスは、上塗り塗料製造所の指定するものとする。  
 3. 新規に塗装を行う場合は、RA種とし、工程11に代えて素地を十分に乾燥させて、工程3を省略する。  
 4. JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。  
 5. 屋内で現場塗装をする場合、工程5の吸込止めに使用する材料は、上塗り塗料製造所の指定する水性塗料とする。

表7.10.1 合成樹脂エマルジョンペイント塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	水性マイティーシーラーマルチ	透明なブルークリアー	—	無希釈	刷毛	0.07	2時間以上 1ヶ月以内
					ローラー		
2 中塗り (1回目)	水性ビルデック艶消	各色	—	5~15	刷毛	0.10	3時間以上
				10~20	ローラー		
3 研磨紙ざり	研磨紙P220~240						清掃後
4 中塗り (2回目)	水性ビルデック艶消	各色	—	5~15	刷毛	0.10	3時間以上
				10~20	ローラー		
5 上塗り	水性ビルデック艶消	各色	—	5~15	刷毛	0.10	—
				10~20	ローラー		

- (注) 1. 新規に塗る場合は、A種又はB種とする。  
 2. 押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種又はRC種とする。

#### 7.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整

コンクリート面及び押出成形セメント板面の下地調整は表7.2.6による。ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

#### 7.10.2 コンクリート面及び押出成形セメント板面合成樹脂エマルジョンペイント塗り

(a) 合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表7.10.1により、種別は特記による。特記がなければB種とする。

なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。

(b) 塗替えの場合のしみ止めは、特記による。特記がなければ、種別がB種及びC種の場合は、工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする。

なお、しみ止めシーラーは、塗料の製造所の指定する製品とする。

#### 注意事項

\* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

\* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。